

平成25年度 特別推進研究 審査の所見

研究課題名	時空階層性の物理学:単純液体からソフトマターまで
研究代表者	田中 肇
審査の所見	<p>本研究は、単純液体ならびにソフトマターを対象として、液体が基本的に内包する時空階層性に焦点を当てて研究を行い、現象を支配する統一的な物理描像を描くとともに、単純液体・ソフトマターの物理学に新しい展開をもたらすことを目的としている。</p> <p>応募者の提案は液体における自発的ボンド秩序形成という新しい概念を基本として、実験、シミュレーション、理論の各面から総合的に研究し、新しい液体の物理描像を定量的レベルで確立することを目指すもので、今後も優れた研究成果が期待できる。</p> <p>以上により、特別推進研究に相応しい研究として採択すべき課題であると判断した。</p>